

セミナー「ブラジルにおけるデジタルＴＶ：１０年後」
山田大使挨拶代読（2019年3月11日19：00～）

皆様、こんばんは。

ブラジリア帰国留学生同窓会（ABRAEX）の皆様、電気通信庁（ANATEL）の皆様、関係者の皆様、「ブラジルにおけるデジタルＴＶ：１０年後」が開催されることにお祝いを申し上げます。また、このような機会に当館館員を招待いただきましたことに深く感謝申し上げます。

ABRAEXは、１９９６年の創立以来、日本大使館及びＪＩＣＡブラジル事務所と協力し、各種セミナー、講演会、留学セミナー、日本文化の普及イベントなど様々な活動を通じて、元留学生・研修生のネットワークの形成・発展に尽力されてきました。日ブラジルの関係の促進に大きく貢献してこられた ABRAEX 及びすべての元留学生・研修生に対して、改めて深い感謝の意を表します。

本セミナーでは、元ＪＩＣＡ研修生であるエドゥアルド・サントスさんにより、デジタルＴＶをテーマとする講演が行われると聞いております。２０１８年８月のＳＥＴエキスポ２０１８では、日ブラジル両国間でＩＣＴ分野での協力に関する覚書が締結されました。日本政府としては、地デジを含む様々な分野でブラジルと協力しつつ、日ブラジル関係の更なる緊密化を図る所存です。

今回は、当館藤原書記官による講演も行われます。この機会を捉えて、皆様の間で意見交換を行っていただくとともに、関係者の皆様と当館館員との交流を深め、ネットワークを広げていただければ幸いです。

今後も ABRAEX そして関係者の皆様が日ブラジル関係の強化のために益々活躍されることを期待します。大使館としても、そうした活動に支援を惜しみません。

最後になりますが、皆様のご健勝、そして日ブラジルの一層の友好親善を祈念いたしまして、私の挨拶といたします。有り難うございました。